

# 瑞穂の里

～ 子供たち一人一人のよさが輝く学校を目指して ～

角田市立北郷小学校  
学校便り  
第4号（文責：校長）  
令和2年6月30日



## 校章に込められた願い

～ 7/16 開校記念日を迎えます ～

6月20日の授業参観には、御多用の中、御来校いただきまして、ありがとうございました。学校を再開して約1ヶ月がたち、ようやく学校生活のリズムが整ってきたように感じております。どの学年も前向きに学習に取り組む様子をご覧いただけたことと思います。

7月16日は開校記念日です。この日にちなんで、本校の歴史を調べてみました。北郷小学校は明治6年7月16日に「第三中学区第四番岡小学校として開校」しました。昭和29年の町村合併により、北郷小学校と改称しました。今年で開校147年目を迎える歴史ある学校です。

校章は、星型の中に「北小」の文字がデザインされています。北郷が角田市の北に位置することにちなみ、子供たちに「北極星のごとく角田の目印となって、先達者として生きてほしいとの願い」が込められています。校章に込められた願いをしっかりと受け止め、自分の志したことに根気強く取り組み、多方面にわたって活躍する子供たちに成長するように、今後も丁寧な指導を続けていきたいと思っております。



7月16日の放送朝会では、子供たちに校章の由来や学校の歴史を話しながら、北郷小のよさを再確認する機会にする予定です。

【校舎 ～春～】

7月も子供たちの健康や安全を第一に考えて、教育活動に取り組んでまいります。引き続きまして、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「おはようございます」から始まる毎日

～ 上級生の一言に導かれて ～

6月のある日のことです。いつものように、横断歩道の前にいると、子供たちが登校してきました。いろいろな学年の子供たちが一緒に横断歩道を渡ってきます。「おはようございます。」のあいさつを交わすと、この日は、ヘビの話題で持ちきりです。みんな、それぞれ思いを述べた後、学校に向かっていきました。

その話題を聞いていた低学年のある子がカナヘビの生態を思い出したようです。「カナヘビはね～、しっぽを切られても生きてるんだよ。」と、教えてくれました。まだまだ、話したような様子です。知識の豊富さに驚きながらも、時計を見ると、午前8時を過ぎようとしています。8時10分までが登校時刻ですから、急がなければいけない時間になっていました。

すると、後ろから合流して話を聞いていた上級生が、「そうか～。分かった。行こう、行こう！」と下級生に声を掛け、一緒に学校に連れていってくれました。

いつもなら何度も足が止まりがちな子供たちも、この日ばかりは、スタスタと学校に向かっていきました。こんなふうに、学年を越えて声を掛け合う朝の風景に初めて出会った気がしました。

学校が再開して一月ほどですが、自然な形で子供同士の交流が生まれていることを実感する出来事になりました。

登校する子供たちの背中を見ながら、とても温かい気持ちになりました。



